



学校だより

えのき

NO. 14 (42)



〈めざす児童像〉

笑顔で なかのよい子
のびのび たくましい子
気づき 考える子

令和3年3月25日

皆野町立皆野小学校

卒業・進級おめでとうございます

新型コロナウイルスの影響により、今年も修了式や卒業式を全校で集まって実施できなくなりましたが、今日、この1年間頑張ってきた子供たちの元気そうな様子を見ることができ、とても嬉しく思います。

改めて明日26日には、いよいよ卒業式を迎えることになる6年生。60名の児童が皆小を巣立っていきます。卒業おめでとうございます。

この6年間、一人一人が様々な経験を積み重ねてきました。卒業式で見る逞しく成長した姿は、保護者の皆様にとっても感慨深いものになることでしょう。保護者の皆様、これまで本校の教育にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

1年生から5年生までの皆さん、保護者の皆様、進級おめでとうございます。

暑い日も寒い日も、一日一日を本当によく頑張ってきました。その毎日の積み重ねが、皆さんの大きな成長につながっているのです。次の学年でもさらに大きく成長できるように、たくさんの方に挑戦していきましょう。そして、皆さんが皆小の伝統をいっそう素晴らしいものにしてくれることを大いに期待しています。



郷土芸能クラブ 1年間の成長の証



3月13日(土)に、皆野小学校 郷土芸能クラブの4・5・6年生が1年間の練習の成果を発表し、6年生のクラブ員のご家族に参観していただきました。

当日は、6年生との名残を惜しむような大粒の雨が降っておりましたが、体育館の屋根にあたる雨音を吹き飛ばすような大迫力の演奏・演舞でした。肌寒さに負けず、凛々しいハッピー姿で『秩父音頭』『皆野屋台囃子』『かごめかごめ』『祇園囃子』『代参宮』『トッピキ〜岡崎』『大神楽囃子』の全7曲を披露してくれました。入って1年目の4年生は、元気に2曲を演奏し、5年生は、楽器だけでなく伸びやかな歌や踊りで盛り上げ、6年生は、さすがの安定感と表現力で大人顔負けの名演でした。その姿から、伝統への誇りと、それを受け継いでいこうとする決意を感じ、大変頼もしく思えました。

今年度は、4・5・6年生で時間をずらしての練習や、体温・体調のチェック、出入口を別に、笛の演奏はフェイスシールドを付け距離を開ける、楽器の共有はせず毎回消毒する等、新型コロナウイルス感染防止を徹底した中での練習でした。また、運動会や地域のお祭りでの発表の機会もなく、子供たちにとっては苦難の1年だったかもしれません。しかし、楽聖ベートーベンが残した言葉「苦悩を突き抜ければ、歓喜に至る」のように、このコロナ禍を経験したからこそその喜びが感じられるような、希望ある未来になるよう心から祈っております。

結びに、關根勢津子先生をはじめ指導者の皆様、保護者の皆様方に心から御礼申し上げます。